



題字/ 故西尾邑次
元名誉会員揮毫

第76号

2025年2月21日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F

電話 03(5212)9178

FAX 03(5212)9079

発行責任者/ 勝部日出男

編集/ 県人会広報部会

<https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin/>

「令和6年総会と懇親の集い」を、11月4日開催しました。好天に恵まれ、石破茂総理大臣をはじめ、大勢の会員そしてご来賓の方々にご出席いただき、賑やかな楽しい集いとなりました。この総会には役員改選期にあたり、新会長に勝部日出男さんが選任され、副会長他役員人事も承認されました。

令和6年11月4日(月・祝)、都市センターホテルにて「令和6年総会と懇親の集い」を開催し、石破茂総理大臣をはじめ、ご来賓や会員の皆様、合わせて約280名の方々に参加いただきました。先ずは、脚本家・映画監督の足立紳氏のトークイベントで幕が開きました。そして、福井宏一郎会長の簡潔な挨拶で総会が始まり、勝部日出男総務部会長による丁寧な会務報告、役員改選報告の議案は満場の拍手で承認され、総会は終了しました。

懇親の集いに移り、福井名誉会長から、「石破総理大臣の誕生で鳥取県民として誠に誇らしい、混沌とした世界で、日本の舵取りをお願いします」と開会の挨拶。来賓紹介に続き、来賓祝辞ではSPに守られながら入場された石破総理を支えていく、鳥取から日本を創っていく、などの祝辞。そして、不二家会長山田憲典さんによる乾杯のご発声により皆様の交流が始まりました。

特別料理として「鳥取和牛オレイン55」のステーキが提供され、長蛇の列ができるほどの大好評となりました。また、合間に小説家松本薫さん、鳥取県立美術館梅田美術館整備監、2024 MISS SAKE Tokyo、林原有香さん、声楽家徳山奈々さんが登壇されました。



東京鳥取県人会役員体制

任期 自 令和6年総会から
至 令和8年総会まで

【五十音順】

役職名	氏名
顧問	足立盛二郎 金子亮太郎 萬治隆生 吉田政雄
名誉会長	福井宏一郎
名誉会員	池田百合子
会長	勝部日出男
副会長	市川祐一郎 柏本雅造 長尾克己
評議員	喜木一彦 赤澤亮正 石破茂 上山信一
	梅林文夫 金田哲夫 古賀信三 小島順一郎
	近藤裕 永井伸和 畑中輝子 林田英樹
	藤井一博 舞立昇治 三角幸子 本池滋夫
	山内治男 山田憲典 山本和昭 湯原俊二
	米濱和英
常任幹事	
(東部)	岩永達也 奥田真三 武田博史
(中部)	倉都康行 小林達 堀尾裕俊
(西部)	遠藤守 吉川博 安藤康社
会計監事	花房幸範 松嶋一海
事務局長	堀田晶子 (鳥取県東京本部長)

※1 紙面の都合上、幹事の皆様の記載は略しました。

※2 下線の方が新任、または異動者

した。そして恒例の福引大会が始まり、会場はさらに盛り上がりました。後半は参加者全員で徳山奈々さんと「ふるさと」を合唱、野坂道明議会議長の「鳥取県から日本創生が始まって欲しい」と三本締めを行い、最後は全員が舞台上がり記念撮影でお開きとなりました。



株式会社 不二家
FUJIYA
代表取締役会長
山田 憲典
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6
TEL : 03-5978-8100

株式会社 五ツウ
取締役会長
大田 英二
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 20-7
ITO ビル 6F
TEL 03-5640-8122
FAX 03-5640-8100

令和6年 全国新酒鑑評会 金賞受賞
千代むすび酒造株式会社
代表取締役 岡空 晴夫
〒684-0004 鳥取県境港市大正町1 3 1
TEL 0859-42-3191 FAX 0859-42-3515

TOTTORI BANK 鳥取銀行
東京事務所
所長 門脇 崇
〒101-0048 東京都千代田区神田町 2-2-12
TEL 03-5295-8111 FAX 03-5295-8117
<http://www.tottoribank.co.jp/>

随想リレー



1969年(昭和44年)7月20日の夜、米国のアポロ11号は2人の人間を世界で初めて月面に着陸させました。月面に立ったのは、アームストロング船長とコリンズ宇宙士でした。その夜、我々県立鳥取東高等学校2年生全員は鳥取県大山鏡ヶ成キャンプ場のテントの中...

アポロ会

細谷 和夫 (鳥取市出身)

中でした。当時最先端のカセットデッキのラジオでその瞬間を固唾をのんで聞いていました。この時代我々高校の修学旅行はキャンプ場で宿泊して名峰大山に登山することで、その時、アームストロング船長は言いました。これは一人の人間にとって小さな一歩であるが、人類にとっては偉大な飛躍である。翌1970年(昭和45年)3月...



122年の伝統ある県人会の維持会員として40年以上前から参加し、特に近年の諸先輩の素晴らしいご尽力も相まって、1月には既に歌舞伎鑑賞会、賀詞交歓会、大相撲観戦会を催し、日本一(?)かとも思われる催事の多い県人会となっています。今年も会員の皆様と共に、今年も...

新年のご挨拶

東京鳥取県人会会長 勝部日出男

春節快樂! 明けましておめでとございます。令和7年、干支は乙巳(きのこ)の年です。乙(き)の重要性を説いています。デジタル化と人工知能による第四の波は急速な変化をもたらしています。変化を恐れず、幸せな脱皮を共にして参りましょう。

少しでも絆を深め、更なる脱皮により親しみやすい県人会とし、県東京本部とも協力して郷里にも貢献して参りたいと思います。そのために、今年度の県人会として、次の3つの基本施策を推進し、脱皮することを試みます。1. 首都圏にある鳥取県人縁の各種団体(同窓会、地域会、経営者の会等)との連携を深め、会員増強に繋げる。2. 県人会EPLSNSの作成。活用等を推進し、各種案内、会報等の郵便、通信費削減の工夫に努める。3. 名簿作成年にあるので、可能な限りメールアドレスの収集に努め、会員相互間の交流に資する。

「総会・懇親の集い」写真集

(歓談中のところにお邪魔し、写真撮りますとお集まりいただきました。紙幅の都合上、その一部しか載せられなかったことお詫びいたしますと共に、敬称を略させていただきます。)



左から、河崎妙子、石破 茂(総理大臣)、山田憲典、米濱和英



左から、齋藤宏暢、杉原弘一郎、平井伸治(鳥取県知事)



左から、福楽 勲、向井 稔、大津芳孝、伊藤祐子、徳田 取、(後)上野茂美、福井恒美、小林 淳、小澤法子、水谷隼平



左から、林 透江、林 凌之輔・美兔、林 昭利(後)佐々木純也、花房幸範、尾崎幹子、松田誠司、横尾 咲



左から、岡垣義壽、吉田英人(八頭町長)、尾崎正人、杉原宗人、(後)上川元張(若桜町長)、入江 誠、友定義晴



左から、原 敏彦、松本元意、菅田 守(日野町副町長)、森安 保(伯耆町長)、清原大助、(後)影山由美子、影山一幸、松本 茂、松原和文



左から、平井耕司(鳥銀会長)、小谷治郎平(鳥・物産協会会長)、吹野博志、丸山野一(鳥・コンシジョン常務理事)、(後)安田達昭(鳥・観光事業団理事長)、門脇 崇(鳥銀東京所長)、遠藤 守、田口智弘(日本海新聞東京支社長)



左から、井田年厚、陶山清孝(南部町長)、山中昌之、(後)浅野真澄(日吉津村役場)、小西恵子、井田昌平、亀尾秀司、中田達彦(日吉津村長)



左から、上司則子、青砥 基、手島淳行、(後)足立幾子、足立盛二郎(顧問)、みよーちゃん、中村晃治、渡邊省蔵、岡空京子、岡空晴夫



左から、平井伸治(鳥取県知事)、勝部日出男(会長)、米濱和英、可世木 博(東海・鳥県人会長)、(後)倉益紀子、福井宏一郎(名誉会長)



左から、常田照雄、金子亮太郎(顧問)、清水裕美、(後)奥田真三、河上卓実、小島憲道、吉田政雄(顧問)



左から、杉原弘一郎、伊澤勇人(米子市副市長)、光井正人、(後)永井 幹、岡本順子、齋藤宏暢、赤羽益三、古都賢一、田中俊平



左から、竹田高幸、倉益紀子、岡村瑞枝、萬治隆生(顧問)、(後)清水、岡野 稔、加藤礼二(倉吉市副市長)



左から、福井史枝、足立幾子、平石裕子、勝部陽子、(後)平井省三、松浦弘幸(三朝町長)



左から、真先 薫、倉益紀子、幾田充代、中瀬 誠、(後)山本 周、橋本 恒(若美町議長)、三角幸子、長戸 清(若美町長)、遠藤隆司



左から、平石政伯、谷口雅人(智頭町議長)、金兒英夫(智頭町長)、大藤嘉次、(後)権原 雅、前田悠介、佐々木英介、山崎恒樹



左から、古賀信三(米寿)、越谷重友(米寿)、田中 剛(米寿)、(後)森田敏夫、長尾克己(副会長)、石丸文男(山陰合銀特別顧問)

憲政史上初 鳥取県から首相誕生

自民党の石破茂総裁は10月1日開催された臨時国会の首班指名選挙で第102代内閣総理大臣に選出されました。鳥取県から首相が誕生したのは、明治23年大日本帝国憲法の施行以降初めてのことです。

石破首相の所信演説(要旨)

私は、「すべての人に安心と安全を」という決意のもと、日本とその未来を守るために全力を尽くします。政治資金問題により国民の信頼を損ねたことを深く反省し、前首相の岸田氏が党内改革を進め、責任を取って退任したことに敬意を表します。岸田内閣の3年間は、経済、エネルギー政策、安全保障などの成果が見られました。私たちは急激な時代の変化—人口減少や物価上昇、デジタル革新—に直面しています。政治は責任を果たすために、

赤澤亮正衆議院議員 経済再生担当大臣に 就任

赤澤亮正衆議院議員は10月1日経済再生担当大臣に就任しました。赤澤大臣は「石破茂を総理大臣にする会」の会長を長く務められ、石破総理の最側近として活動されてきました。この度、大臣として経済財政政策の他、石破首相の方針である防災庁設置の準備も担当されます。

たしてきたのか、再考が求められます。失われた信頼を取り戻し、国民と共に安全で豊かな社会を再構築することが私の使命です。そのために、「ルールを守る」「日本を守る」「国民を守る」「地方を守る」「若者・女性の機会を守る」の5つの柱を掲げ、日本の未来を創り守ります。

政治家としての経歴

2005年に初当選、2012年安倍内閣で国土交通大臣政務官、2014年内閣府副大臣、2016年衆議院環境委員、2020年菅義偉内閣で内閣府副大臣、2023年財務副大臣に就任。2024年経済再生担当大臣に就任



令和6年東京鳥取県人会総会・懇親会にて
日本海新聞 令和6年11月5日掲載



令和5年東京鳥取県人会総会・懇親会にて

鳥取県初となる石破茂首相誕生をお祝いして



鳥取県知事 平井 伸治

昨年9月の自由民主党総裁選挙において、第一回目投票からの逆転で決戦投票を制し、石破茂衆議院議員が当選。私も思わず「勝った」と万歳。10月に鳥取県民待望の総理大臣に就任されたという快挙を果たされました。鳥取県は歓喜に湧き、東京県人会の皆様も喜びを共にされたものと存じます。

11月4日に「東京鳥取県人会総会・懇親の集い」が盛大に開催され、福井宏一朗会長から新たに勝部日出男会長にバトンが引き継がれました。新役員のご就任をお祝い申し上げます。ともに、前会長のご功績に感謝申し上げます。

この会に石破総理が出席され、愛郷精神をもって一堂に会した東京県人会の皆様をねぎらいつつ、地方創生のための喫緊の課題に熱弁を振るわれました。その熱意は全国ニュースを賑わしました。

鳥取県は人口戦略を世に訴えるため元日本商工会議所会頭の三村明夫議長率いる人口戦略会議などの有志とフォーラムを計画していましたが、石破総理誕生を機にその政策を後押しする「日本創生に向けた人口戦略フォーラム」として開催を決定し、11月30日にとりぎん文化会館で挙行了しました。少子高齢化、人口減少などに挑戦し、日

鳥取県人初の石破茂総理大臣への期待と願い

東京鳥取県人会会長 勝部日出男



石破総理大臣の誕生は、私たちが鳥取県出身者にとっても大きな誇りであり、国民にとっても誠実かつ清廉な政治への期待の象徴です。豊かな自然と歴史、篤実な人々に恵まれた鳥取県人であることから、石破総理大臣の誕生は、地方の声がより一層国政に反映されることと期待されます。豊かな大臣経験から地方創生・地域振興への造詣が深く、既に予算の2倍化を約束されています。地方が元気になることが愉しい日本経済の大きなモーターであり、地方の人々にとって切実な願いです。

次に、石破総理には、経世済民の政治を目指していただきたいと期待しています。政治の核心、経済こそが民を救うのです。日本は推計一京二千兆円以上の資産国家です。この資産の価値を最大限に引き上げ、資産運用の最大化を図る政策こそが、日本経済の再興、国民の所得と資産を増やし、経済的幸せに最も効果的です。莫大な資産の利回りを1%上げるだけで、120兆円の余剰が発生します。国民からお金を吸い上げて経済を悪化させる増税の必要がなくなります。資産効果の最大化により経済の活性化と国民生活の向上を実現できることとなります。防衛や防災、社会保障の財源を確保する最大の源となります。革新的な資産運用国家構想を、赤澤経済

石破首相誕生に寄せて

東京鳥取県人会名誉会長 福井宏一郎



令和6年10月1日に石破茂総理大臣が誕生してから半年弱、地方創生の交付金が倍増されるなど、石破内閣の方針が徐々に出てきました。県人会評議員の石破総理はこれまで、県人会懇親会では来賓代表として挨拶をされ、皆様と親しく歓談してこられました。東京鳥取県人会は、日露戦争が始まる前年の1903年に設立され、今年112年目に当たります。その長い歴史の中でも、鳥取県出身者として初めての、そして東京鳥取県人会からの総理誕生は、特筆すべき事です。

石破総理は、1986年に29歳

の若さで衆議院初当選以来、38年間にわたって多分野で地まぬ活動と発信をしてこられました。新人政治家の時から政治改革を率先提案し、自らが二世議員と見られがちなかで、有能な人が公平に政治に出られる仕組みを訴えかけてこられました。また、安全保障の分野で名高く、防衛庁長官・防衛大臣を勤められました。農業や地方の問題にも真剣に取り組みされて、農林水産大臣や地方創生担当大臣を歴任されています。いずれも、今の日本の最重要の課題です。今私たちは、激動を駆け抜けてきた日本の現代史の中でも、まれな困難さに直面しています。日本社会の急激な変化と安全保障面での不穏さ、さらには国際政治の不安定さが顕著になっています。そんな難しい時代環境のただ中で、石破総理の日本の舵取りです。日本は経済が停滞する中で、急速な少子高齢化とAI革命が同時進行しています。一方、国際的な武力衝突があちこちに飛び火する中で、周辺国の軍備拡張と核の脅威が現実味を帯びてきています。石破総理の、政治家としての長い研鑽と実績が、これらの分野で適任であることに疑いはありません。加えて、今の時代は地球温暖化による異常気象や、地震の頻発も身に迫っています。石破総理の掲げる重点政策として、防災省の新設置があります。赤澤亮正経済再生担当大臣がこの所掌です。赤沢大臣も東京鳥取県人会の評議員で、皆様と歓談してこられた方です。経済再生に加えて、赤澤大臣がこの分野でも、大胆な第一歩を踏み出されますように。

この難しい時代に、国運を担うという重圧がどれほどのものか、想像を絶します。このことに人生をかけて一剣を磨き、研鑽を積んでこられた石破茂総理の誕生を心から祝します。

地方創生ばなし《その23》

トータルエナジーオオタ 代表取締役社長 太田栄市



きつかけは、鳥取市教育委員会からの『鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針』に沿って、各学校区で将来を見据えた議論を始めてください」という投げかけでした。現在私は、母校でもあり、この地域に拠点を置く会社を運営している関係で、数年前から鳥取市立稲葉山小学校の学校運営協議会に参加しています。その関りから前述の課題を議論する会にも加わり活動

ご縁(私と歌舞伎の世界)

中村蝶三郎(前田泰寛)

鳥取県の若美郡若美町で育った私は、幼い頃からコンプレックスの塊の様な性格で、いつしか色んな人生や職業を表現する俳優と言った職業を目標としました。しかしシエイクスピアやチェーホフの戯曲を読んでもさっぱり... そんな中色々な芝居を観つつ、古典を学ぶならより日本の芝居をと思い、歌舞伎座や国立劇場へ通う様になりました。すると不思議と歌舞伎の世界に繋がる人脈が出来、気が



大関琴櫻 初優勝

大関琴櫻(佐渡ヶ嶽部屋)



琴櫻名昇進祝賀会(2024年6月) 日本海新聞 令和6年12月27日掲載

が、昨年九州場所で初優勝を果たしました。千秋楽では21年ぶりとなる大関同士の相星決戦で豊昇龍を下し、14勝1敗の成績を取めました。この優勝は、祖父であり第53代横綱の琴櫻が1973年名古屋場所でも優勝して以来、51年ぶりの快挙となりました。九州場所では3日目に主鷹に敗れたものの、4日目からは12連勝を飾りました。14日目は新大関大の里を破り、最終決戦では豊昇龍の上手投げをはたき込みでかわし、悲願の初優勝を果たしました。年間最多勝利果も66勝に達し、その実力を証明しました。

令和7年新春歌舞伎鑑賞会(報告)

歌舞伎鑑賞会幹事 奥田真三

東京鳥取県人会 令和7年新春歌舞伎鑑賞会は、1月11日(土)新国立劇場中劇場にて公演された、国立劇場新春歌舞伎『彦山権現喜助剣(ひごんざんこんげんちかいはのすけだち)』を鑑賞させて頂きました。菊五郎が真柴秀吉役を演じるほか、主人公の六助役を菊之助が、剣術指南役の吉岡一味斎の娘役お園を時蔵が演じるなど、新春初芝居を、おなじみの豪華な顔ぶれで、仇討ち物語が演じられました。仇討ち狂言の傑作とあって剣術場面(チャンバラ場面)が沢山あり、さすがチャンバラ得意の尾上菊五郎一座の面々、華やかな新春歌舞伎を堪能致しました。



令和7年新春歌舞伎鑑賞会(報告) 奥田真三

まず一人て衣裳を綺麗に着る事、正座や片膝や蹲踞(ぞんさよ)と言った姿勢で長時間耐える事、又トナボを習得し立ち回りで活躍する事で幹部の方々や先輩方の覚えが良くなり、逆になら女方は大変で目立つた事はさせてもらえませんが、お行儀よく控えて耐える事が求められます。その他芝居の黒衣後見や舞踊での気付け後見を任せられる事など、そんな修行を何年も続けてやると名題披露を受ける事を許され、受かった者だけが名題披露する事が出来るのです。今は、これまで私を育ててくれた歌舞伎界に感謝をしつつ、出来る事なら多くの人に楽しんでいただき、又少なくともはおりますが、新しく歌舞伎界に入ってくる若者たちの手本となる人間になる事が私の目標でございます。

一人の落伍者もなく参加者全員最後までプレーを楽しみました。個人の部 優勝は市川祐一郎さん(中部) ネット98.8準優勝は鳥取から参加の広田一恭さん(中部)、第3位は初参加の田中俊平さん(西部)という結果でした。女子優勝は吉川佳史子さん(西部)で当日賞の5位とW受賞。男子ベストスコアは市川祐一郎さん(中部)で83、女子ベストスコアは坂原聖子さん(東部)で93というスコア。メールにて実施しておりますので、以下のゴルフ会幹事へメールアドレスの登録をお願い致します。全員が入った中部地区(平均スコア74.7)、2位は中部地区、3位は東部地区という結果でした。参加者は中部10名、東部、西部各6名計22名でした。3連休明けのプレーとなりました。たため現役世代の参加者が少なめ、前回より4名の参加者減となっております。次回春の大会は来年中旬開催を予定しております。決まりましたら、ご案内させていただきますので、多数参加されます様お待ちし

【編集後記】 東京鳥取県人会は、昨年総会で勝部新会長誕生と共に広報部も新体制になりました。引き続きよろしくお願いたします。 会員からの近況便り(500字)、読者の感想(200字)をお待ちしています。事務局宛て手紙、FAXでも寄せ下さい。 編集者

ESIO, 山崎酒造, 稲田屋 (Advertisements for clothing, sake, and a restaurant)